

学校 教育 目標	「夢に向かって かがやく子」 ○自ら問題を発見し、主体的に考え、意欲的に学び続ける子を育てます。《知》 ○自分を大切に、他者を思いやって行動ができる優しさを育てます。《徳》 ○運動に親しみ、心身ともにたくましく生きる力を育てます。《体》 ○夢や目標をもち、まちや社会のために、他者と協働する力を育てます。《公》 ○人とのつながりを大切に、広い視野でともに生きていく力を育てます。《開》				
	学校 概要	創立 40 周年	学校長 山本 佐知子	副校長 澤 勉	2 学期制
児童生徒数: 585 人		主な関係校: あざみ野中学校 あざみ野第二小学校 黒須田小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
他者を理解する態度・自己を肯定する姿 思いや考えを伝え合う力 目標を設定し、それに向かっていく力 約束やきまりを守る力 基本的な生活習慣	あざみ野中学校 あざみ野第一小学校 あざみ野第二小学校 黒須田小学校 (すすき野中・すすき 野小・嶮山小・荏子 田小)	自分らしく、共に生き、未来を切り拓く子  小中学校間で学習指導や生徒指導の円滑な接続を重視するとともに、児童・生徒間の交流や教職員の交流を積極的に図ることによって、子どもたちに必要な資質能力を育て「9年間で育てる子ども像」の具現化を目指す。具体的には小中授業研究会、小学生の中学校授業参観・部活動見学・生徒会オリエンテーション等を行う。

中期 取組 目標	子ども一人一人を大切に、学習面でも生活面でも進んで問題解決できるよう、自ら判断し自信をもって行動する子を育てます。 ○豊かな感性を育み、明るさと優しさにあふれる温かな学校づくりに努めます。 ○学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの表現を大切にしながら学力を向上させます。 ○健康な心身を作るための生活習慣の形成と学校生活の約束を大切に作る気持ちを育てます。 ○家庭・地域との連携を深め、地域の教育力を生かし、社会に開かれた学校づくり、地域から信頼される学校づくりに努めます。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>確かな学力</b>	・子ども自身が問題解決し、主体的に考えるような支援や指導を工夫することで、学びの質を高める。 ・友達の考えを聞き、その思いをふまえて、自分の考えをまとめたり発表したりできるような学習スタイルを組み立てる。
担当 教育課程部	
<b>豊かな心</b>	・子どもの日常的な学校生活の中で、道徳実践の指導を充実させるとともに、学校の教育活動全体を通じて行われる道徳教育の要として、児童の実態に基づいた道徳科の授業改善を図っていく。 ・気持ちのよいあいさつをすることを励行し、相手とのつながりを意識するように指導する。
担当 児童理解部	
<b>健やかな体</b>	・体育科での指導や外遊びを通して体力向上に努めていく。 ・学校保健委員会等の取組を通して、児童が自らの健康に対して関心を高めていけるようにする。
担当 教育課程部 児童理解部	
<b>児童指導</b>	・児童支援専任を中心に職員が連携し「学校のきまり」のねらいを共有して、組織的な指導に努める。 ・学級開き研修や児童理解研修、横浜プログラムの活用研修を行い、学年・学級運営の充実を図る。
担当 児童理解部	
<b>特別支援教育</b>	・ユニバーサルデザインの視点に立った授業の工夫や特別支援研修を行い、児童が落ち着いて安心して学習できるようにする。 ・配慮を要する児童の理解、支援計画を全職員で共有すると共に、保護者と連携しながら進めていく。
担当 児童理解部 特別支援	
<b>地域連携</b>	・学校が主体となり、あざいちサポーターズと連携して地域の材を活用し『横浜の時間』の充実を図る。 ・畑や田んぼなどの栽培活動を行い、体験を通した学びから達成感を得られるようにする。
担当 地域連携担当	
<b>特別活動</b>	・学校生活の充実と向上を図るために、学級活動、児童会活動、委員会・クラブ等の活動に児童が主体的に取り組む姿を目指す。 ・たて割り活動では、異学年交流を通して社会性や人間関係を育んでいけるよう指導していく。
担当 特活部	
<b>情報教育</b>	・ICT活用を授業づくりに効果的に取り入れ、教育活動全体で育む資質能力の育成を目指す。 ・プログラミング教育をカリキュラムに位置付け、教科学習との関連を図り、論理的思考の育成を目指す。
担当 情報視聴覚部	
<b>いじめへの対応</b>	・毎月、いじめ防止対策委員会を開催し、全職員でいじめ根絶に向けて取り組んでいく。 ・児童の様子をしっかりと観察し、いじめの疑いがあった時は迅速にチームで解決していく。 ・日常的な道徳教育の中で、自らの考えを深めたり、人権感覚を磨いたりする学習を設定する。
担当 児童理解部	
<b>人材育成・ 組織運営 (働き方改革)</b>	・5年次以下の教職員を中心にメンターチームを組織し、授業力、指導力の向上を図る。 ・ミドルのメンバーが専門委員会や特設委員会において中心となる役割をもち、積極的に学校運営に携わる意識を高め、ミドルリーダーの育成を図る。 ・職員全体が学校運営を見通す場(会議、研修等)を適切に位置付け、指導体制の充実を図る。
担当 教務部	